

ち づ 智頭 議会 だより



町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会

第173号

発行：令和8年1月20日



智頭の思い出シリーズ62



平成 17年

昭和46年

☆ 令和 7年 12月

定例会 …P2~

☆ 政策提言・発議10号 …P4

☆ 7人の議員が一般質問 …P6~9

☆ 各常任委員会の報告 …P10~13

☆ 議会報告会 …P14~15

☆ 町民の声(智頭地区) …P16



昭和30年

「国民健康保険智頭病院」

昭和30年6月に、病床数95床からスタートし、5年後の昭和36年に145床へ増設され、昭和46年に全面改築。平成17年に全国にも例のない三位一体(保健・医療・福祉)の施設になり、現在に至る。

障害福祉費

就労継続支援B型、
自立訓練および
相談支事業の新規
利用者が増えている。

大幅増額の
主な要因は？



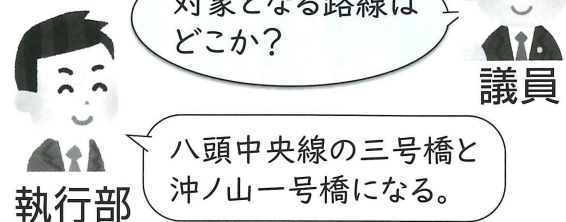
障がい福祉サービスの利用者増加
により障がい者給付費の増額

2,433万5千円

公共林道事業



対象となる路線は
どこか？



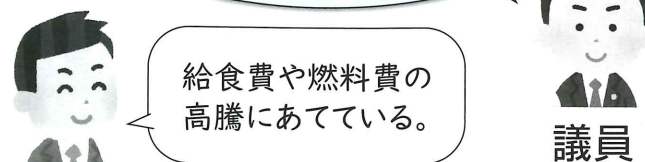
八頭中央線の三号橋と
沖ノ山一号橋になる。

公共林道の林道橋設計業務委託料
の増額

1,700万円

病院事業会計繰出金

今回の補助金の
大部分は人件費か？



給食費や燃料費の
高騰にあてている。

国の交付金を活用して物価高騰に
伴う経営支援
550万円

観光施設管理事業

2月中旬完成予定、
2ヶ月分の経費
である。

清潔さが観光客の
満足につながる。
清掃業務は
どれ位の予定か？



智頭急行恋山形駅に設置される
トイレの維持管理に
要する経費
19万1千円

防犯機器購入補助金



カメラ付きドアホンセンサーライトなど
設置補助
(上限1万5千円 10軒分) **15万円**

12月 定例会

補正予算を可決!!

第4回定例会が12月4日から11日まで8日間の
会期で行われ、専決処分1議案の承認を行い、令和
7年度の補正予算や条例改正など14議案を審議し、
原案どおり可決しました。

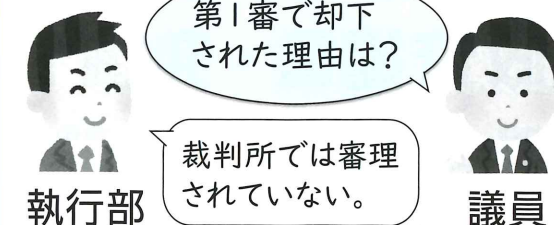
補正予算の主な内容は次のとおりです。

(各費目に共通して、標準報酬月額額の定時見直しに伴う
人件費の調整、特別会計、及び、企業会計への繰出金の調整)

補正予算額(一般会計) **5,771万3千円**
補正予算額(特別会計・企業会計) **1億2,658万5千円**

訴訟対策費

第1審で却下
された理由は？



裁判所では審理
されていない。

第1審で却下された住民訴訟を
原告が控訴したため、第2審に
係る代理人委託料 **44万円**

企業会計 病院事業会計 補正予算

病院事業費用

鳥取市立病院から医師の派遣を
受けるための委託料など

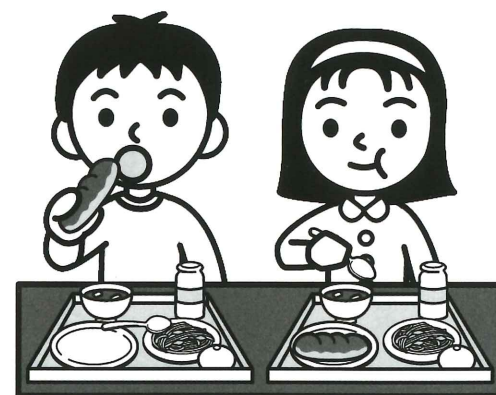
3,101万1千円

建設改良事業

電子カルテ更新に伴い
既存システムと新規システム連携
に必要な経費

396万円

学校給食費



重油の高騰による燃料費の増額

66万3千円

【専決処分】

ふるさと基金費

ふるさと納税額の増加に伴う基金積立金の増額

3,000万円



刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書の提出について

提出者

同和問題調査特別委員会
委員長 波多 恵理子

理由(抜粋)

冤罪は、重大な人権侵害であり、唯一の救済手段である再審制度については、刑事訴訟法第4編再審に定められている。しかしながら、再審請求手続きに関する規定は19箇条しかなく、審理の進め方や基準等は、事件を担当した裁判所の裁量に委ねられている現状にある。何十年もかけて無罪を勝ち取った人たちの苦しみを再び繰り返さないためには、再審手続に関する法の不備を速やかに是正する必要がある。



条例の制定・一部改正

- 智頭町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- 智頭町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
- 智頭町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正
- 智頭町副町長に関する条例の一部改正
- 智頭町行政財産使用料条例の一部改正
詐欺その他不正行為に過料を追加する。土地使用料単価について、地目による固定額から相続税課税標準価格等を勘案して定める額に変更する。消費税に関する規定を追加する。
- 重要な公の施設等の指定等に関する条例の一部改正
「智頭町児童福祉施設の設置及び管理等に関する条例」に改める。

政策提言

議会が町へ5項目を提言

令和8年度の予算編成に向けて、次の事業・施策のさらなる充実、強化を図るよう提言しました。

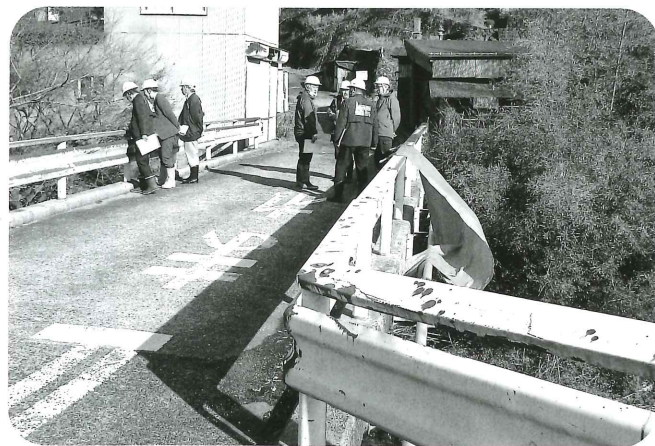
- ① 若者定住対策の強化
- ゆめが丘の空き区画の有効活用
- 通学環境の見直しと充実
- ② 持続可能な農業振興の強化
- 次世代につなげる農業経営基盤整備事業の拡充
- ③ 共助交通の利便性向上に向けた前日予約導入
- ④ 避難施設の環境整備
- 集会施設における町独自の空調設備設置・更新補助の新設
- ⑤ 自主財源の確保に向けたふるさと納税の強化

陳情の審査結果

件名	提出者	審査結果
① 刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書採択の陳情書	部落解放同盟智頭町協議会 議長 石谷 政輝	採 択
② 衆議院議員の定数削減に反対する陳情	平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 代表世話人 村上 俊夫	趣旨採択
③ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 智頭町森林組合管理の林道尾ノ見谷線の一部区間の管理移管について(尾見)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
④ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 智頭町森林組合管理の林道小又線の管理移管について(大内)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
⑤ 智頭町森林組合管理道に関する要望書 智頭町森林組合管理の林道ワラビオ線の一部区間の管理移管について(福原)	智頭町森林組合 代表理事組合長 大谷 豪太郎	採 択
⑥ 「年金積立金の一部活用で、物価上昇に見合う年金引上げと年金保険料の引下の検討を求める意見書提出」についての陳情	全日本年金者組合 鳥取県東部支部長 藤原 章	趣旨採択

【趣旨採択の理由】

- ② 願意は理解できるが、現在国会で議論中であるため。
- ⑥ 願意は理解できるが、財源確保として年金積立金の活用やマクロ経済スライド廃止が得策とは判断できないため。



③ 林道尾ノ見谷線



④ 林道小又線

■ 陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。(土・日・祝日を除く)



陳情 受付

詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL: 75-3115

次回の定例会は3月6日から開催する予定です。 gikai@town.chizu.lg.jp

一般質問

問 戦後80年が経過し、戦争の記憶を未来に残す取り組みがなされている。町内の慰霊碑も、高齢化とともに年々維持管理が難しくなっている。町内の慰霊碑の現状をどのように把握しているか。また遺族会等との協議は進んでいるのか。

答 町長 町内には11基の忠魂碑があり、遺族会などがそのうち9基を管理している。町としては独自の調査も行っており、積極的な協議も行っていない。今後のことは管理されている方々の意思を尊重したいと思うので、町が積極的にどうするかという話ではないと考えている。

問 現在町内に分散している忠魂碑について、以前の議会でも「合祀」について検討する旨の町長よりの答弁があった。2年半経過した今の時点で「合祀」についての検討状況はどうか。

答 町長 現時点で具体的な協議はしていない。もし将来「合祀」ということの方角性が出たら、国の支援制度や他団体の事例なども参考にしてみたい。



今後の維持管理が課題



岡田 光弘

慰霊碑管理

独自の調査はされているか
町長／独自調査は行っていない

7人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名 // 質問項目 // QRコード	議員名 // 質問項目 // QRコード
大河原 昭洋 1. 持続可能な智頭病院の運営について 2. 物価高騰対策について	仲井 莖 1. 太陽光発電事業について
岡田 光弘 1. 今後の慰霊碑等の在り方について 2. EBPMの導入について	谷口 雅人 1. 基金の一部を運用することによる歳入の確保について
谷口 翔馬 1. 商工振興対策について	古田 浩 1. 住民サービス向上に向けた交通対策について 2. 土師地区で計画されているメガソーラーについて 3. スポーツ環境の整備について
波多 恵理子 1. 孤立・引きこもり(8050問題)対策について 2. 町の賑い創出(ちづ道エリアの活性化)について	※一般質問の録画映像をスマートフォンやパソコン・IP電話でご覧いただけます!

一般質問



大河原 昭洋

智頭病院

町民との信頼関係が重要だ
病院事業管理者／
町民との対話を継続する

問 町民から信頼され、利用していただける病院にするには、町民との信頼関係の構築が一番重要であると思うが、これらの進め方についてどのように考えているのか。

答 病院事業管理者 医療の質の向上だけではなく、町民との信頼関係を着実に築いていくことが不可欠。そのために、病院の現状や課題、取組状況を分かりやすく公開をし、座談会などで町民の声を直接伺い、病院の運営に反映させる双方の対話を継続、強化していきたい。

問 4月に就任された森下院長がプロジェクトを立ち



竣工まもない智頭病院(平成17年)

答 病院事業管理者 病院の将来を担う若手職員を中心に「よし!もつ!いい病院にするぞプロジェクト」を立ち上げている。各部門の職員でグループごとに病院の課題や改善点の話し合いを進めており、12月末には基本的な考え方を理念として取りまとめる予定である。

上げたと聴いているが、それはどのようなものか。



谷口 翔馬

商工振興

事業承継の促進は
町長／新たな制度設計を検討

問 人口減少や高齢化が進む中、昨年度で11事業者が倒産し、そのうち7事業者が高齢化による廃業であった。生活サービスを支えてきた事業所がなくなれば、町民の生活環境の悪化につながる重大な課題である。事業継承の促進について、町長の考えはどうか。

問 会社そのものを受け渡すのではなく、様々なサービス等を第三者に引き継ぐ事業承継の仕方もあると考える。一例を挙げると飲食店の味やサービスなどを承継させる取組というのも考えていく必要があるのではないか。

答 町長 本町では、昨年度に鳥取県の事業承継・引継ぎ支援センターの協力の下、事業承継個別相談会を開催して、今年度も定期的に行っている。しかし、これまでの相談件数は僅かであるので、PRをしていきたい。また、事業承継に特化した補助事業の新たな制度設計についても検討する。

答 町長 その思いはあるので、前向きに考えていきたい。繋げていくためには、町民全体が、まちを盛り上げていく必要があるもので、そこも含め、制度を見直していきたい。





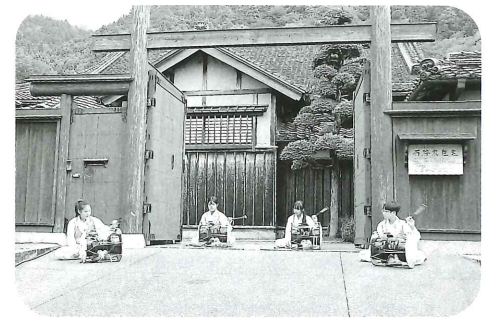
波多 恵理子

賑い創出

石谷家住宅にボランティアは
教育長／財団と協議する

問 人口減少や少子高齢化などの社会問題に対応し、地域の持続可能な発展をめざすためにも、町の賑いは必要である。コロナ禍以降入館者が伸び悩んでいる石谷家にもスタッフのサポートやイベントの企画、運営に協力いただけるボランティアを募ってはと考えるが。

答 教育長 財団と協議していきたい。



楊口郡の小学生による韓国伝統芸能の披露
(石谷家住宅前にて)

問 CHIPSオーディションを受けられる方々に商店街の活性化をテーマに企画提案していただき、新しい風を吹き込んでいただくのも、ちづ道エリアの活性化につながるのでは。

答 町長 CHIPSには、コンソーシアムメンバーとして町も名前を連ねている。そのメンバーとしても、駅前再開発、商店街の活性化、飲食店問題には大きな課題を持つており町の商工振興にとっても最重要課題であると認識している。次回はそういった設定で、検討される可能性がある。

※コンソーシアムとは「共同事業体」



谷口 雅人

自主財源

基金の運用で歳入確保を
町長／投資は考えていない

問 令和9年度の公債費ピークに対処する具体的な対応を考えているか。

答 町長 様々な事業の支出については、収入に見合った支出を予算化することで起債借入額の減少に努めている。

関しては、行政としては、まるつきりそっちの方を向いていない。

問 損失の危険を冒しながら、大きな利子を狙っていく投機ではなく、元本の安全と、それに対する一定の利子を生むもの、それに対する投資が行政の道と思うが。

答 町長 財政調整基金の多くは一般財源になる。特定目的として使うべきものではないと考える。

答 町長 投機的な風が強くなる。そういったことに



仲井 莖

太陽光発電

条例の制定を
検討すべきでは
町長／考えていない

問 現在、土師地区において計画されている太陽光発電事業に対して、地元住民から、多数の反対意見や不安の声が寄せられている。地域に還元される事業こそが、持続可能な再生可能エネルギーの普及につながると思えるが、町長の見解を問う。

答 町長 地域に歓迎される事業かどうかはさておき、自然エネルギーによる発電は化石燃料に代わる持続可能な再生可能エネルギーとして注目され、その普及には、企業や個人、消費者の方々全てが関わり、それぞれの立場において、役割や責任を果たすことで成り立つものと考えている。



太陽光発電事業予定地(土師地区)

問 今後、大規模太陽光発電設備設置事業に関する独自の条例の制定を検討すべきだと考えるが、町長の所見を問う。

答 町長 太陽光発電に特化して条例をつくるということは考えていない。新たなエネルギーの確保についての処遇については、現行の法律や条例等で賄いたいと思っている。



古田 浩

交通対策

のりりんの前日予約は
町長／対応は難しい

問 利用者も増加しているAIタクシーについて、特に朝の予約が取りにくく、通院や汽車やバスの乗り継ぎなどが不便との声がある。利用者が朝から計画利用出来る前日予約など利便性向上対策を検討しているか。

答 町長 本格運行から3年近く経過し様々な課題に直面しながら対策を講じてきている。現時点では、リスクやデメリットの方が大きいために、対応が難しいと考える。

問 病院の通院問題もあるが、朝の利用者が多く、朝の便だけでも小型乗り合いバスを運行する対策をとり、一度に運行する台数を減ら



AIタクシー「のりりん」

す工夫をしても智頭方面に向かう車両に対応出来ないか考えを問う。

答 町長 出来ないことはないがリスクやデメリットが大きい。例えば今より料金を倍もらわなければならぬ可能性もあるから今の状況でしばらくは、理解してほしい。

民生常任委員会の報告

- 10月14日 月例委員会**
所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。
- 主な質疑**
- Q** 地籍調査課の一筆地調査について、福原は平地と山を直営で行うということだが、山の方は基本的に森林組合に委託ではなかったか。
- A** 今年度は大呂の山も直営で行っている。福原の山も同じような形で旧山郷小学校側から樽見にかけて実施する。
- Q** ツキノワグマ対策について、今年は柿が大豊作であるので、不要な柿は収穫するよう注意喚起できないか。
- A** 注意喚起はしっかりと考えていきたい。
- 11月11日 主な質疑**
- Q** 小型歩道除雪機の貸与について、現在貸与している集落は使用実績があるか。
- A** 貸与期間中の12年間は実績報告、除



- 12月9日 主な質疑**
- Q** 今年度の暮らしを考える会は、「人生100年これからゲーム」など、今までと違った手法で参加者意識が生まれるような仕組みであった。カードも貸し出しするということであるが、貸し出しの際にスタッフが出向いても良いのではないか。
- A** そのようなご相談も既にいただいております。対応は可能である。
- Q** 雪計画を提出いただいている。貸与期間が過ぎれば譲渡され集落管理となる。
- A** 農業集落座談会について、2回目を実施している集落もあるが、集落側の提案か。
- Q** 1回目に農業委員や主要な方に集まってもらい、集落側より申し込みがあった所には、担当課と日程調整を行い、2回目は広く集落のみなさんに集まってもらっている。集落座談会では図面を置いて帰っているの、2回目以降は地図を見ながら、各集落主体で実施いただきたいと考えている。

- Q** 除雪の委託について、今年度からGPSを導入され、住民の問い合わせに対応するということであるが、どのような想定か。
- A** 問い合わせがあった際に、今どきのあたりを除雪しているのか説明ができるのではないかと思います。
- Q** 健康と暮らしの調査について、内容にボリュームがあり、高齢の方には回答が難しいのではないか。
- A** 調査は全国統一で実施しており、町独自の質問事項は最後のページだけである。全国的に調査した中で必要な項目としてあげているものなので、ご理解いただきたい。
- Q** 12月2日からマイナ保険証に移行し、マイナンバーカードに統合していない人には資格確認書が送られているが、高齢者等は仕組みの変更について対応できないという声もあった。智頭病院の窓口ではそのような混乱は起きていないか。
- A** 病院窓口ではそこまでの混乱は起きていない。

広報モニターの声

- 議会だより72号に関する
議会広報モニターからの
ご意見を紹介
- 【議会だよりの編集に関すること】
- 全体の構成
(見やすさ・記事量など)に関する意見
『よい』9名、『普通』5名。
わかりにくい言葉、
説明が必要な内容に関する意見
- 5ページ**
- Q** 特定空家対策は3件。解体だけの事業なのでしょいか。
- A** 特定空家は、町民からの情報提供をもとに実態調査(立入調査、所有者調査、周囲への悪影響等の調査)を行い、「智頭町空家等対策協議会」が審議し、特定空家に認定します。認定後、町の指導により解体される場合は町の補助を受けられます。
- 6ページ**
- Q** 「ふるさと納税」が他市町村に約880万円流出していることについて、他市町村から智頭町にはどれくらい納付されているのか？
- A** 令和6年度の納付額は約2,035万

- 9ページ**
- Q** 林業ビジョンの「Jークレジット」の内容が？
- A** Jークレジットは、森林整備や再エネ導入、省エネなどによって削減・吸収されたCO₂量を「Jークレジット」として国が認証し、企業が購入して自社の排出削減に活用できる制度です。環境貢献を見える化でき、地域の林業・再エネ事業の支援にもつながります。
- 11ページ**
- Q** コネクテッドカーの説明がほしいです。
- A** 谷が多く、集落が点在している地域特性により、行政サービスが行き届きにくいという課題に対応するため、ミニバンを改造し、車輻に通信機器を搭載し、動く役場として、マイナンバーカードの出張申請、健康相談などのサービスを令和4年度から行っています。
- 【町政全般・議会活動に関すること】
その他に関する意見
- ・補正予算で病院会計に「腰椎手術に取り組むための機器購入費」が計上され

- ・「あの陳情、その後どうなった」はビデオアプターが見えてとても良かったです。
- ・智頭町がTikTokをしていることを初めて知り、このページにQRコードものっていることで、若者が見てみたいと思うきっかけになると感じた。
- ・やはり今は人口減少対策が最大の課題かと思っています。10人の議員の皆様にも、熱い思いを込め頑張っていたいただきたいと思っています。
- ・表紙の昭和60年定例会の写真を見ながら、当時はどのような議題があり、その対応はいかにあったのかに興味を湧きました。
- ※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。
- ・「あ、今後は、町内外に広く周知し利用者の増加と病院会計赤字縮小に向けての対応を期待します。」
- ・スマホで見えたらうれしいです。
- ・智頭議会だよりは、過去のものも含め、ホームページに掲載しております。



総務常任委員会の報告

10月6日

智頭町商工会との意見交換会

■意見・要望など

令和7年度の商工業者数308業者に
対し、会員数は212業者である。昨
年度は11事業所が廃業しており、その理由
のほとんどが高齢化による廃業であった。
智頭町商工会の財政状況について、現
在のままでいくと運営が困難になるが、
本町から商工会がなくなると廃業の1つ
の理由にもなりえるので、商工会でも商
工会費の増額や努力を行い、行政として
もしっかり補填をしていくことが急務で
ある。

「智頭町版地域電子カード」について、
会員の方から「調査報告やアンケートを
取って町長に要望しているのに未だに正
式な回答がない、財政的に今が厳しいの
であればそのことを中間報告でもあつて
しかるべき、議会とも何度も意見交換を
しているのに動きが見えない」と厳しい
意見もあつた。

また、商工会会員の要望として、町内
事業所優先に町の事業を行ってほしいと
あつた。

■所感

意見交換会を通
して物価高騰、人
件費の高騰など
により、事業者を取
り巻く環境は非常
に厳しい状況であ
ると再認識した。

本町には事業継
承等の補助金がな
いことから今後検
討する必要がある。

活性化を目ざすための「智頭町版地域電
子カード」の導入については、改めて可
能性を感じた。しかし、町民の利便性を
高め、今後長期に渡り利用していただ
ける電子カードにするためには本町が導
入している共助交通など、マイナンバー
カードの活用により1枚のカードで多く
の決済が出来るシステム構築は必要であ
ると思うが、人口減少に歯止めがかか
らない中、町内事業者を守るためにも何
らかの手立てをスピード感を持って行な
う必要性を感じた。



商工会2階 会議室にて

10月21日

11月18日

12月8日

月例委員会

所管各課の事業進捗状況などについて、
質疑を行いました。

主な質疑

Q ふるさと納税が増加傾向であるが、
何の返礼品が人気であるのか。

A 金額的にも件数的にも梨が多い状況
である。本町独自だと薪の返礼品が
多い。

Q 防災機器購入補助金について、想定
より募集が多く補助金を受けられな
い方がいたということだが、その後
の対応は。

A 県補助金の枠に応募しているので、
追加があれば検討したい。

Q 近年、海外の観光客が多くなってい
るが、外国語表記等が少なく感じて
いる。町の賑わい創出に大切だと思
うが対応としてどうか。

A まさに課題と感じている。現在国の
交付金を活用してインバウンド対応
を観光協会と一緒にやって行ってい
るので、「のりりん」の受付など今
後対応できるよう検討したい。



庭園の冬支度「こも巻き」

Q 小中学校にタブレット端末を1人1
台貸与して、オンライン授業も可能
な状況であるが、欠席時活用した場
合、出席扱いとなっているのか。

A 最終的には学校長の判断だが、本町
では出席扱いとしている。

Q 漏水箇所調査が智頭東地区が終わり、
西地区に入るとのことだが、期間
はどれくらいで見ているのか。

A 今週開始して、1月20日までの期間
であるが、雪が降るまでに予算の範
囲内で進めるようにと協議している。

Q 石谷家住宅の来場者が先月900人
増えていたが、担当課として分析し
ているか。

A 庭園公開が、昨年より1日増えたこ
とや、NHKで取り上げていただき、
情報発信できた効果が考えられる。

鳥取県

東部町議会議長会議員研修会

■期 日 令和7年10月10日(金)

■場 所 岩美町「岩美町中央公民館」

■演 題

「近年の異常気象と気象情報について」

■講 師 鳥取県地方気象台

次長 中江 祥浩氏

■参加者 議員10人

■所感

今年度の研修会は、全国的に異常気象
が続いていることもあり、講師として鳥
取地方気象台から中江 祥浩(なかえ よ
しひろ)氏をお招きして行われた。近年
は、3年連続の記録的な猛暑となってお
り、気象庁は地球温暖化の影響が起因し
ていると可能性を指摘された。

本町で何らかの
災害が発生した場
合、議会において
も、災害時におけ
る議会及び議員の
役割や行動方針を
あきらかにする議
会業務継続計画、
いわゆる議会BC
Pの策定が急がれ
ると感じた研修会
であった。



楊口郡議会交流事業

■期 日 令和7年11月2日(日)

■参加者 10名

昨年は、智頭町議会として12年ぶりに
韓国楊口郡を訪問した。本年度は、楊口
郡より8名の訪問団をお迎えし、ハイカ
ラ市や石谷家住宅を見学して、日本の文
化に触れていただき、交流会では、言葉
の壁を越え、親しく意見交換を行った。



◀チョン チャンス議長と安道議長

～皆様からのご意見の一部と 智頭病院からの回答～

Q 夜中に救急車で搬送され、診察が終わって帰る手段がない場合の対応を考えて欲しい。(夜中なので、タクシーもつかまらなかった。)

A 必要性は認識している。対応可能か検討する。

Q 大変厳しい状況だが、自治体病院として機能しているのか。
また、病院の収益はどうなっているのか。
健診の受診数をもっと増やした方がいいのでは。

A 令和6年度の収益は、令和5年度に比べて増加しているが、費用が人件費及び物価高騰しているため赤字幅が大きくなっている。健診については、一つの方策として事業所訪問して健診受診者の増加を図っている。

Q 若者向けの病気予防セミナーで病院に関心を持ってもらい、医師・病院と繋がりが出来れば利用に繋がるのでは。

A 健康増進、認知症、感染症など「ほのぼの出前講座」を無料で実施している。また、令和7年度「ほのぼのフェスタ」で小中学生を対象に、病院体験見学ツアーを実施して好評であった。来年度以降も実施予定である。これらを通じて繋がりを深めたい。



各地区の報告会での町民からの意見や要望を通じて、身近な医療機関として関心も高く、安心して智頭町で暮らし続けるには病院は必要である、という共通認識を改めて町民の方と持てたことは有意義であり、改善点等についても参考となる意見をたくさんいただくことができました。

仮に智頭病院がなくなったとしたら、人口減少にも拍車がかかり、将来的に町の存続にも大きくかかわってきます。今後、持続可能な地域医療の存続に向け、智頭病院がまちづくりの視点でもなくてはならない施設として、町民の暮らしに密着したものとなるよう、厳しい意見も踏まえ継続した努力を関係者とともに進めていきたいと考えています。

令和7年度

議会報告会・意見交換会を開催!!

令和7年度議会報告会を開催しました。始めに令和7年度の活動状況を報告し、本年7月の改選で議員定数が10名となりましたが、議会力を落とさないため、両委員会に重複議員を置き、活動を行っていることなどを説明しました。

今回の意見交換のテーマは「地域医療について」と題し、智頭病院のこれからについて、町民の皆様と意見交換を行いました。

【日程】

	地 区	令和6年	令和7年	地 区	令和6年	令和7年
10月20日(月)	那 岐	15 名	20 名	土 師	17 名	17 名
10月21日(火)	山 形	18 名	26 名	富 沢	13 名	9 名
10月22日(水)	智 頭	13 名	9 名	山 郷	8 名	9 名

【内容】

1. 議会・議員の活動状況
2. 地域医療について

～智頭病院のこれからをみんなで考える～

◎「議会報告会資料」の説明後に各グループでの意見交換



那岐会場

看護師の対応が
良くなっている!

患者数は
どう増やすのか?

福祉と連携が
とれていて安心!

駐車場が少ない...



智頭会場

教育で智頭町へ恩返し

つばさ
岡 大翼さん(智頭地区)

私は「あの」智頭病院で産まれ、「あの」智頭中学校、そして「あの」智頭図書館で育ちました。現在ではすでに取り壊され、姿を消してしまった建物もありますが、今の智頭町には、どこの市町村にも負けないほど充実した設備を備えた病院、学校、図書館があります。

また、それらの施設だけでなく、智頭町には多くの魅力があります。温かい人たちがいます。豊かな自然があります。私は常に、「智頭にあるものは他にはない」と感じています。

高校卒業後、県外へ大学進学しましたが、「智頭で暮らしたい」「生まれ育った故郷で何かできることをしたい」という思いから、Uターンしました。理由はただ一つ、「智頭が好き」

だからです。

二〇二〇年には、若者代表の一人として智頭町に貢献したいという思いから、「学習・キャリア教育支援団体「飛翔」を立ち上げました。私にとつての恩返しは「教育」です。勉強に困っている智頭町の子どもたちを支えたいという思いで始めた学習塾と、「智頭で働く」きっかけをつくるために取り組んでいるキャリア教育の二つを軸に、地道に教育活動が続けています。

私の同級生の多くは、高校卒業後に県外へ進学し、何人かは智頭町へ戻ってきていますが、より多くの仲間智頭町へ戻ってきてほしいという思いを抱いています。

近年では、県外から智頭町へ移り住む家庭も増えてきました。智頭町の魅力を

知り、実際に体感した上で移住してきた方々がいることを、大変嬉しく感じています。また、「智頭農林高校に進学したい」と、県外から寮生活を送りながら学んでいる生徒もいます。

二〇二四年に「消滅可能性自治体」に智頭町が指定されて以降、智頭町のために、より一層何かをしなくてはならないという使命感を強く抱くようになりました。智頭町の存続のため、そしてさらなる活性化のため、今後も自分にできることを精一杯取り組んでいきます！



編集後記

10月に各地区で開催した議会報告会では、多くのご意見をいただき、ありがとうございます。智頭病院では院長を中心に、職員の皆さんが力を合わせ、病院の維持に取り組まれています。来年度の診療報酬改定により、状況が少しでも改善することを願っています。今後とも智頭病院をご利用いただければ幸いです。人口減少による財源確保など課題はありますが、智頭発の特産品づくりやふるさと納税の充実を進め、午年である本年が「ウマくいぐ」一年となるよう、議会だよりも明るく親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。(古田)

編集 広報広聴常任委員会

委員長 仲井 茎

以下議員全員
発行責任者 議長 安道 泰治